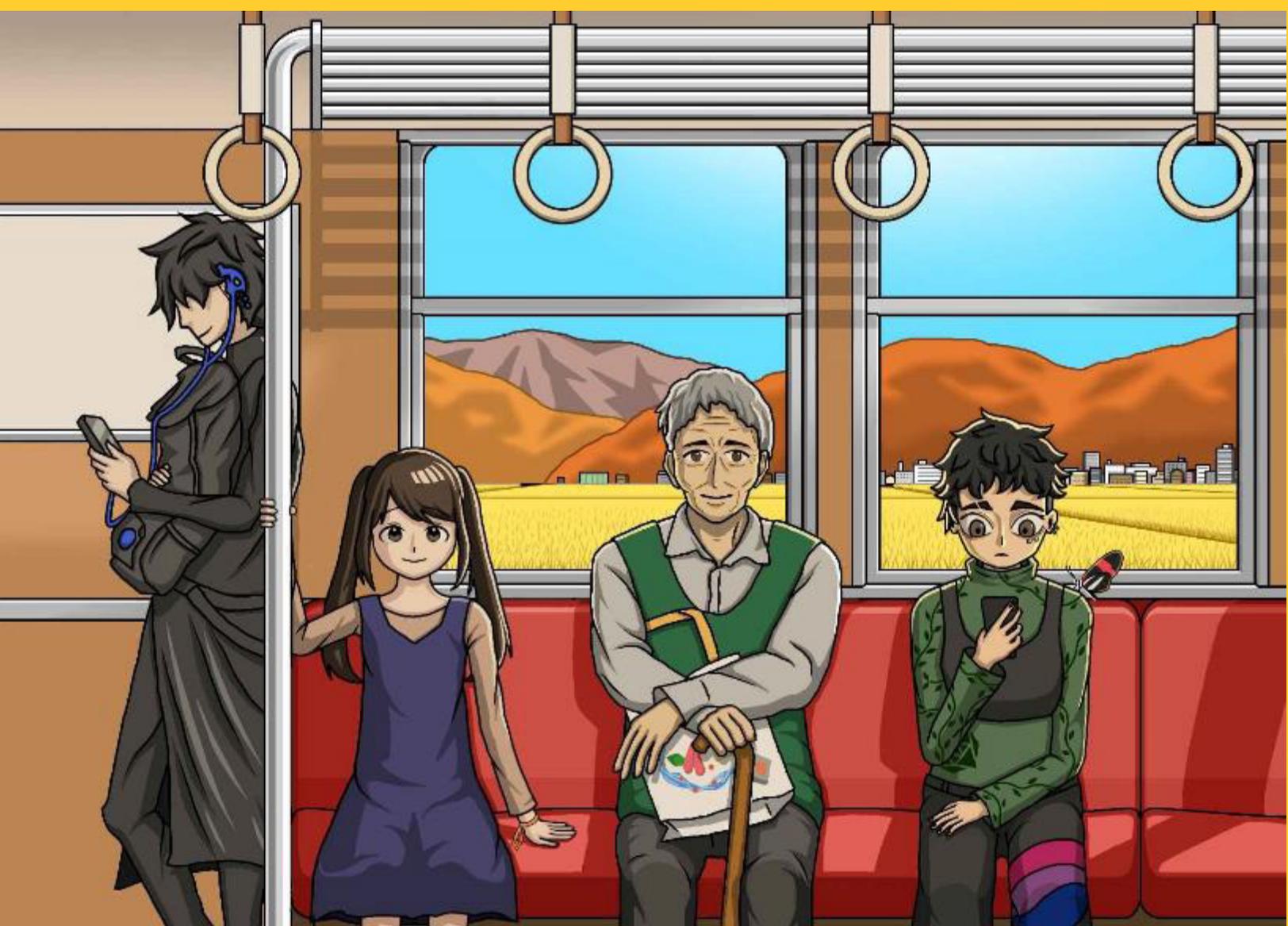


生涯学習センター 公開講座のご案内

10月～3月



ごあいさつ

生涯にわたる多様な学び継続のための公開講座

大学という「場」には、数多くの学問と、そこに積み重ねられた豊富な「知」があります。長い歴史を持つ大阪市立大学と大阪府立大学を統合して誕生した大阪公立大学は、一層多様な学問分野とそこに蓄積された豊富な「知」が結集する、より大きな総合大学となりました。そのような多様で豊富な「知」を活かしながら、本学では、生涯にわたる学び実現のための、さまざまな取り組みや学習機会を提供していくことを目指しております。

本公開講座でも、みなさまの「生涯にわたる多様な学び」の継続に活かしていただけるような、人文、社会、IT、理工、ライフサイエンス、生活・健康の各分野とそれらの分野横断のものなど、幅広い分野やテーマの講座を企画し提供していきたいと考えております。本学の公開講座における「多様な学び」への、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

生涯学習センター長 飯吉 弘子



安心安全に受講していただくための 対策とお願い



私たちの
対策

- ・常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



皆さまへの
お願い

- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・会場では**基本的な感染症対策（手指消毒、換気の実施等）**にご協力ください。



Meet 学問に出会う

難易度 ★ (初心者歓迎)

■ 大阪の地盤構成と災害	P4
開講日 10/1~11/5	定員 60名
受講料 5,000円 (全6回分)	I-siteなんば
	理工
■ 人類と感染症との戦い	P5
開講日 10/5~12/21	定員 60名
受講料 5,000円 (全6回分)	I-siteなんば
	社会
■ ブルーノ・タウトの生涯とモダニズム建築	P6
開講日 10/5~10/19	定員 60名
受講料 3,000円 (全3回分)	I-siteなんば
	人文
■ なにわの平安時代	P7
開講日 11/1~11/22	定員 100名
受講料 4,000円 (全4回分)	I-siteなんば
	人文
■ ストレッチング&ウォーキング	P8
開講日 10/30~12/18	定員 50名
受講料 5,000円 (全8回分)	中百舌鳥キャンパス
	生活・健康
<small>ニーハオ</small> ■ 你好！中国茶の世界へようこそ	P8
開講日 11/19	定員 30名
受講料 2,000円 (全1回)	I-siteなんば
	人文
■ 和歌山大学連携事業公開講座	P9
開講日 12/18・1/16	定員
受講料 ※企画中	南海波切ホール
	I-siteなんば
	未定
■ 関西大学連携事業公開講座	P9
開講日 2/26・3/8	定員
受講料 ※企画中	関西大学梅田キャンパス
	I-siteなんば
	未定
■ 講談の成立とその魅力	P9
開講日 (未定)	定員
受講料 ※企画中	I-siteなんば
	人文
■ 杉本キャンパスの歴史と研究 (仮題)	P10
開講日 2/1	定員 200名
受講料 2,000円 (全1回)	杉本キャンパス
	人文
■ ICTを活用した中国語学習法 (仮題)	P10
開講日 3月 (予定)	定員
受講料 ※企画中	オンライン
	人文
■ 私たちの暮らしとお金を考える	P11
開催日 10/22~11/12	定員 各120名
受講料 無料	文化交流センター
	社会
■ 専門家講座	P12
開講日 12/3~2/27	定員 各120名
受講料 各500円	文化交流センター
	横断

Enrich 学問を深める

難易度 ★★ (要基礎知識) ~★★★★ (専門職向け)

■ 心理専門職のための体験から学ぶ心理療法	P14
開講日 10/11~12/6	定員 40名
受講料 10,000円 (全5回分)	I-siteなんば
	人文

公開講座の会場

※地図は本冊子P19、20をご覧ください。

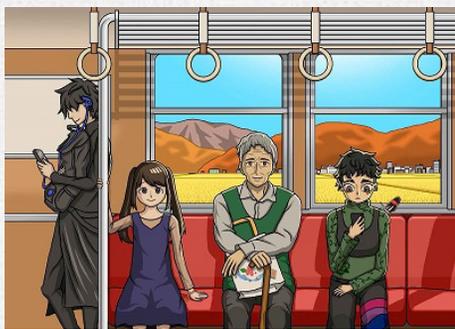
公開講座のカテゴリー

※各講座の右上に表示しています。

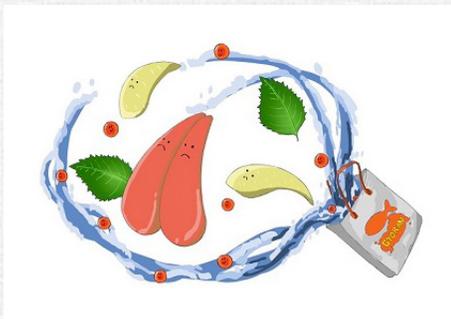
人文 (哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化など) 社会 (経営、経済、法学、政治、都市防災など)
 IT (情報、通信、人工知能など) 理工 (数学、自然科学、工学など) ライフサイエンス (生物、農学、獣医学など)
 生活・健康 (医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツなど) 横断 (分野横断) その他

- ・ 受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・ 駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・ 受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・ 講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・ 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。
- ・ 上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP17～18をご覧ください。

本冊子に掲載している下のイラストは、本学美術部員が制作しました。



「ある午後の車内」 金広直樹さん



「GYORAN」 金沢楓さん



「たから物」 熊切遥子さん



「お茶の時間」 森颯太さん



「龍心スカラーバイト」 六峰冴藍さん

Meet

学問に出会う



受付中

大阪の地盤構成と災害

難易度 ★ (初心者歓迎)

理工

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月1日(火)～11月5日(火) 13:30-15:00 各火曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円 (全6回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-04460.html>

I-siteなんば

講義概要

大阪平野とその周辺の低地部には未固結の土砂からなる厚い地層が分布します。この地層は第四紀(260万年前から現在まで)に堆積した地層(第四紀層)で、都市大阪の地盤を構成します。第四紀層の形成過程を調べると自然環境の変遷が捉えられます。第四紀層は都市地盤として地震災害やかつての地盤沈下の素因でもありました。本講座では、その概要を紹介します。

講師 三田村 宗樹 (大阪公立大学 名誉教授)

講義スケジュール



第1回
10月1日(火)

大阪周辺の地盤構成

大阪周辺は平野・台地・丘陵地・山地が広がり、その西には大阪湾が広がっています。平野から山地にかけてそれぞれの地形に対応するように形成時代の異なる地層や岩石が分布しています。この回では、地形とそれを構成する地層・岩石の概要を紹介します。

第2回
10月8日(火)

丘陵に露出する第四紀層

大阪周辺の丘陵には、低地を構成する第四紀層が露出しており、その地質調査から第四紀の気候変動に応じた形成過程がまとめられてきました。この回では、その概要を紹介します。

第3回
10月15日(火)

大阪平野地下の第四紀層

平野地下には、縄文時代以降に形成された沖積層(難波累層)と呼ばれる地層が分布し、その下位には厚い第四紀層が存在します。この回では、その状況や古地理の変遷をたどります。

第4回
10月22日(火)

大阪平野周辺の活断層と地震

厚い第四紀層が大阪の低地域に分布することは、山地と低地の境に存在する活断層の活動が大きくかわっています。ここでは、活断層の活動や地震との関係について紹介します。

第5回
10月29日(火)

1995年兵庫県南部地震の被害と地盤

1995年兵庫県南部地震は、阪神間に大きな地震被害をもたらしました。その被害状況と都市を構成する地盤との関係について紹介します。

第6回
11月5日(火)

地盤沈下と第四紀層

大阪平野の地下には、地層中に豊富な地下水があり、かつては工業用水や建物空調用の冷却水として利用されていましたが、過剰な揚水が原因で地盤沈下が生じ、それによって台風時の高潮浸水被害が拡大しました。ここでは、その概要について紹介します。

受付中

人類と感染症との戦い ～薬剤耐性菌の脅威と制御～

難易度 ★ (初心者歓迎)

社会

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月5日(土)～12月21日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円 (全6回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-04377.html>

I-siteなんば

講義概要

新型コロナウイルス感染症は世界的規模での大流行（パンデミック）となり、社会生活に大きな影響を及ぼしました。現在は5類感染症と位置付けられ、以前の社会に戻っているかのように見えます。しかし、インバウンド増加や大阪・関西万博によって新たな感染症の流入、特に「薬剤耐性（AMR）*」の拡大が危惧されています。本講座では、人類にとって今後大きな脅威となる薬剤耐性菌と、パンデミックに対するデータ分析について最新の研究と知見を紹介いたします。

*特定の種類の抗菌薬（抗生物質や抗生剤）が効きにくくなる、または効かなくなること。耐性を得た細菌は「耐性菌」と言う。

講義スケジュール



薬剤耐性菌を知ろう

第1回
10月5日(土)

2020年以來のCOVID-19パンデミックにより社会は甚大な打撃を受けましたが、薬剤耐性菌（AMR）はサイレントパンデミックとして懸念されており、その影響は将来的にCOVID-19を上回る可能性があります。AMRシリーズ講演の第一弾として、基礎的な知識とその重要性について、自作のオリジナルキャラクターを用いながらわかりやすく解説いたします。

講師：金子 幸弘（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学大学院 医学研究科 教授）

薬剤耐性菌伝播における伴侶動物の重要性

第2回
10月19日(土)

薬剤耐性菌対策はヒトだけで完結できるものではなく、周囲の動物や環境を含めた取り組みが必要です。本講義では、伴侶動物（ペット）の耐性菌保有状況やヒトとペットの間で起こりうる耐性菌の伝播について最新知見を交えて紹介します。

講師：安木 真世（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学大学院 獣医学研究科 准教授）

グローバルな視点から見た、家畜への抗菌薬使用と薬剤耐性菌について

第3回
11月2日(土)

抗生物質は細菌感染症の特効薬として多くのヒトの命を救ってきました。一方、家畜においては治療のみならず、成長促進の目的で健康な家畜にも抗生物質が使用されています。家畜に対する抗生物質の使用状況と薬剤耐性菌問題を含めその功罪について紹介します。

講師：山崎 伸二（大阪国際感染症研究センター 副センター長・大阪公立大学大学院 獣医学研究科 教授）

パンデミックに対する社会の反応：オルタナティブデータを用いた分析

第4回
11月16日(土)

効率的な感染症対策のためには、感染症や政策が社会に与える影響を分析することが重要ですが、既存の政府統計ではリアルタイムに変化する状況を分析することが困難です。そのため、近年は携帯電話の位置情報のようなオルタナティブデータの活用が盛んになっています。今回はコロナ禍における実証研究の結果を紹介します。

講師：黒田 雄太（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学大学院 経済学研究科 准教授）

紫外線・放射線を用いた殺菌法と殺菌ストレスで発生する損傷菌の制御理論

第5回
12月7日(土)

殺菌とは何か、従来の加熱や薬剤の他、紫外線、放射線を用いた殺菌方法について説明します。また、食品業界では、殺菌処理後も死滅せず損傷を負った「損傷菌」は、環境次第で増殖能を復活し、食中毒や腐敗の原因となるリスクがあり問題となっています。本講義ではその損傷菌とその制御理論の研究について紹介します。

講師：朝田 良子（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授）

細菌に感染するウイルス、バクテリオファージ。薬剤耐性菌に対する切り札になるか？

第6回
12月21日(土)

既存の抗生物質が効かないたくさんの薬剤耐性菌が出現し、国際的な問題となっています。バクテリオファージは、細菌に感染するウイルスで、感染過程で細菌を溶かす酵素を持っています。こういった酵素の遺伝子をゲノム解析から探索し、新しい治療薬にする開発を行っています。薬剤耐性菌を迎え撃つ新しい研究を紹介します。

講師：植松 智（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学大学院 医学研究科 教授）

受付中

ブルーノ・タウトの生涯と モダニズム建築

難易度 ★ (初心者歓迎)

人文

講座の詳細・申し込み ▶



日時：10月5日(土)～10月19日(土) 14:00-15:30 各土曜日・全3回

定員：60名 受講料：3,000円 (全3回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-04101.html>

I-siteなんば

講義概要

1933年、ドイツの建築家ブルーノ・タウト(1880-1938)は、ナチス政権の誕生に伴い日本に亡命しました。1920年代後半のベルリンでモダニズム建築による集合住宅の建築を進めたタウトは、ヴァイマル文化を嫌うナチスから目をつけられたのです。タウトの人生をドイツでの活動に始まり、日本での活動を経て、終焉の地トルコで死にいたるまで辿ります。

講師 北村 昌史 (大阪公立大学大学院 文学研究科 教授)



講義スケジュール

第1回
10月5日(土)

モダニズム以前

モダニズム建築家としての地位を確立するまでにタウトは、田園都市、表現主義、ユートピア構想など当時の様々な芸術上の潮流の中で活動していました。1920年代前半までのタウトの活動を辿ります。

第2回
10月12日(土)

モダニズム建築家としての全盛期

1920年代後半にタウトはベルリンを中心にモダニズム建築によるジードルングを多数建築し、この時期が彼の全盛期でした。馬蹄形ジードルングなどタウトの代表的設計が行われたこの時代のタウトをとりあげます。

第3回
10月19日(土)

日本におけるタウト

タウトは、1933年から36年の日本滞在中は、生駒山頂に住宅地を設計したりしました(未完)が、仕事に恵まれず「建築家としての休暇」状態となりました。その間、日本文化論の文章を発表し、仙台や高崎で工芸品製作の指導を行いました。



田園都市ファルケンベルク



馬蹄形ジードルング



トリーア通りの集合住宅

受付開始
9月上旬

博学連携講座

人文

なにわの平安時代

日時：11月1日(金)～11月22日(金) 18:30-20:00 各金曜日・全4回

定員：100名 受講料：4,000円(全4回分)

Webページ公開・申込受付開始：9月上旬～

I-siteなんば

講義概要

平安時代になって、難波宮は衰退しましたが、上町台地から大川にかけてのあたりは、交通の要衝として繁栄しつづけました。渡辺津とよばれた港町が興隆し、淀川を介して京都につながっていました。一方、西には大阪湾が広がり、海路は西国諸国から遠く大陸にまで到ります。ここには、信仰の場として多くの人々が訪れ、所縁を結んだことでも知られています。「都」とは異なる、平安時代の「なにわ」の魅力を多方面から解き明かします。

講義スケジュール



第1回 11月1日(金)

参詣記にみる平安後期の四天王寺

聖徳太子創建の四天王寺。平安時代には浄土信仰の聖地として知られ、貴賤を問わず多くの人々が参詣しました。今回、貴族の日記などにみられる参詣記録を紹介し、当時の社会状況について考えます。

講師：渡邊 慶一郎（和宗総本山四天王寺勸学部勸学課文化財係 学芸員）

第2回 11月8日(金)

渡辺津の成立

平安時代になっても、上町台地北端は流通の拠点であり、11世紀には渡辺津とよばれる港町が発展しました。渡辺津は、発掘調査によって大川の兩岸に立地したことがわかっていますが、ここでは文献史料をもとに成立過程を見通してみたいと思います。

講師：大村 拓生（関西大学 非常勤講師）

第3回 11月15日(金)

平安期難波の海の信仰世界

平安時代の人びとは難波の海に対してどのような信仰をもっていたのか、平安期を中心とする古代中世の文学作品や史料を素材に、四天王寺や住吉社といった難波の海を取り巻く寺社の信仰とも関わらせて考えていきます。

講師：小林 直樹（大阪公立大学大学院 文学研究科 教授）

第4回 11月22日(金)

発掘調査の成果から語る平安時代の大阪

貴族のイメージが強い平安時代ですが、大阪市内の遺跡発掘調査では、農村部の開発や難波京・難波津のその後のようすが近年わかってきました。これらについて調査成果をもとに当時の姿を語ってみたいと思います。

講師：小田木 富慈美（大阪市文化財協会 学芸員）

* 本冊子に掲載していない講座もあります。

* 各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。

（開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております）

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



受付開始
8月下旬

ストレッチング&ウォーキング

生活・健康

日時：10月30日(水)～12月18日(水) 14:00-15:00 各水曜日・全8回

定員：50名 受講料：5,000円(全8回分)

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

中百舌鳥キャンパス

講義概要

加齢とともに下肢筋群や全身持久力が低下していきます。こういった問題を解決するための手段としてウォーキングが推奨されます。ウォーキングは速度を変えることで比較的安全に運動強度を調整できるため、いつもどおりのウォーキングと強度の高いウォーキングを交互に織り交ぜることで下肢筋力や全身持久力の向上が期待できます。この講座では、運動効果を向上させるためのストレッチングとウォーキングを組み合わせたハイブリッドエクササイズを皆さんと実施します。

講師 川端 悠 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授/スポーツプログラム開発センター長)



受付開始
9月下旬

你好！中国茶の世界へようこそ ～六大茶を通してひも解く中国茶文化～

人文

日時：11月19日(火) 14:00-16:00 全1回

定員：30名 受講料：2,000円

Webページ公開・申込受付開始：9月下旬～

I-siteなんば

講義概要

お茶は人々の心身両面を健康にする飲み物として世界中で愛好されています。本講座では、中国茶の六大種類(白・緑・黄・烏龍・紅・黒茶)から代表的な銘茶を一つずつ取り上げ、そのお茶にまつわる話をしながら、皆さんと一緒にお茶を淹れて、味わうことを通して、中国茶を楽しむ扉を一緒に開きたいと思います。

講師 王 静 (大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授)



受付開始
未定

和歌山大学連携事業公開講座

日時：12月18日(水) 19:00-20:30

講師：三田村 宗樹 (大阪公立大学 名誉教授)

主催：和歌山大学

南海波切ホール

日時：1月16日(木) 18:30-20:00

講師：西村 竜一 (和歌山大学 データ・インテリジェンス教育研究部門 講師)

主催：大阪公立大学

I-siteなんば

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

受付開始
未定

関西大学連携事業公開講座

日時：2月26日(水) 18:30-20:00

講師：平井 章一 (関西大学 文学部 教授)

主催：大阪公立大学

I-siteなんば

日時：3月8日(土) 14:00-15:30

講師：乾 隆 (大阪公立大学大学院 農学研究科 教授)

主催：関西大学

関西大学梅田キャンパス

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

受付開始
未定

講談の成立とその魅力－上方芸能講座 講談編－

人文

2025年開催予定

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。



I-siteなんば

受付開始
未定

博学連携講演会

人文

杉本キャンパスの歴史と研究（仮題）

日時：2025年2月1日（土） 12:30-17:30（予定） 全1回

定員：200名 受講料：2,000円

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

杉本キャンパス

講演会参加者へ特別公開「大阪市立大学140周年記念展示室」開室

講義テーマ ※テーマはすべて仮題



①

大阪の都市計画とキャンパスづくり

講師：木方 十根（鹿児島大学理工学域工学系 理工学研究科 教授）

②

占領軍と杉本学舎・キャンプサカイの実態－戦前戦後の断絶と再生－

講師：松本 裕行（大阪教育大学附属高等学校池田校舎 教諭 / 元大阪市立大学大学史資料室 客員研究員）

③

放散虫化石がおこした革命

講師：桑原 希世子（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）

④

山根徳太郎の北京在外研究と大阪商科大学

講師：栄原 永遠男（大阪公立大学大学院 文学研究科 客員教授 / 大阪市立大学 名誉教授）

⑤

現在に連なる本格的な総合大学の整備と学生運動

講師：中瀬 哲史（大阪公立大学大学院 経営学研究科 教授）

⑥

杉本キャンパスと生きた化石『メタセコイア』

講師：西野 萌（大阪市立自然史博物館 学芸員）

受付開始
未定

ICTを活用した中国語学習法（仮題）

人文

日時：2025年3月オンライン開催（予定）

講師：清原文代（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。



オンライン

受付開始
8月下旬

文化交流センター・野村証券株式会社共催講座 私たちの暮らしとお金を考える

社会

日時：10月22日(火)～11月12日(火) 18:30-20:00

定員：各120名（先着順） 受講料：無料

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

文化交流センター

講義概要

投資に必要な知識を2回の講義でわかりやすく解説します。

※多くの方に受講していただけるよう、10月と11月に同じ内容で開催します。

1日のみ、10月と11月に1日ずつ、4日間すべてなど、自由にお申込み可能です。

講師 松原 伸行

(野村証券株式会社 梅田支店 ウェルス・マネジメント課シニアインベストメントアドバイザー)

講義スケジュール

第1回

10月22日(火)

11月 5日(火)

投資の基礎知識 株式と債券

「株式・債券」って何？「投資信託」どこが違うの？

第2回

10月29日(火)

11月12日(火)

投資の基礎知識 分散投資

新NISAの使い方

分散投資はメリットがあるの？ 新NISAはどう使えばいいの？



※お問い合わせ（文化交流センター）

電話：06-6344-5425 Eメール：gr-shak-bunkou3@omu.ac.jp



大阪駅



文化交流センター ホール

受付開始
10月上旬

文化交流センター
専門家講座

※お問い合わせ（文化交流センター）
電話：06-6344-5425
Eメール：gr-shak-bunkou3@omu.ac.jp

横断

日時：12月3日(火)～2月27日(木) 18:30-20:00

定員：各120名（先着順） 受講料：1回 500円 ※各回ごとに申し込み

Webページ公開・申込受付開始：10月上旬～

文化交流センター

講義概要

1984年新春の開催以来、40年の歴史を誇る大阪公立大学文化交流センターの「専門家講座」です。これまでに1469回の講義を開催しています。貴方の「なぜ？どうして？知りたい！」に、大阪公立大学OB等の大学教員、弁護士、公認会計士などの専門家がお答えします。

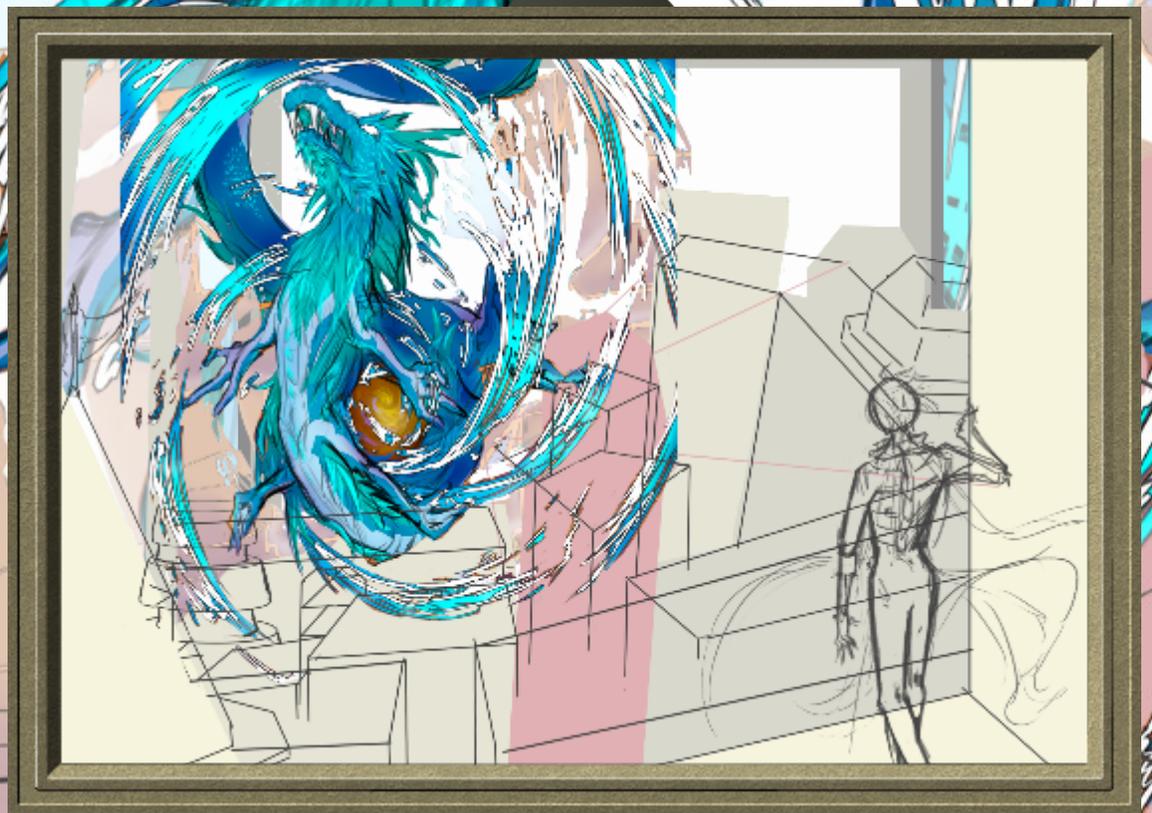


講義スケジュール

12月3日(火)	令和6年能登半島地震と被害の概要	三田村 宗樹 (大阪公立大学 名誉教授)
12月10日(火)	アイデアを盗まれないための仕組みとは？	吉田 稔 (共栄国際特許商標事務所 弁理士)
12月19日(木)	期待を裏切る犯罪心理学！？	緒方 康介 (大阪公立大学大学院 生活科学研究科 教授)
1月9日(木)	私たちの税金 — 所得税	吉松 宏晃 (吉松会計事務所 所長/税理士/公認会計士)
1月14日(火)	相続に関する話	三谷 岳大 (オクトパス法律事務所 弁護士)
1月16日(木)	経営分析入門	大枝 伸一 (おおえだ公認会計士事務所 代表/公認会計士)
1月21日(火)	交通事故に関する話	野矢 伴岳 (堺法律事務所 弁護士)
1月23日(木)	優良企業の見分け方と決算書の仕組み	山添 清昭 (山添公認会計士事務所 所長/公認会計士)
1月28日(火)	刑事事件に関する話	浦田 忠興 (浦田法律事務所 弁護士)
1月30日(木)	相続税と贈与税の実務	柴田 洋 (柴田国際公認会計士事務所 代表/公認会計士)
2月4日(火)	歩きと走りの科学	後藤 幸弘 (兵庫教育大学 名誉教授)
2月6日(木)	鉄道趣味を通した子育て・孫育てのすすめ	弘田 陽介 (大阪公立大学大学院 文学研究科 教授)
2月13日(木)	身体文化の東西比較 —舞台芸術や格闘技を素材として—	弘田 陽介 (大阪公立大学大学院 文学研究科 教授)
2月18日(火)	はじめてのNISA・iDeCo ～ライフプランと資産形成支援制度～	中村 文彦 (一般社団法人 Office aya9 代表理事)
2月20日(木)	災害多発社会 報道と地方メディアの現状	藤岡 勇貴 (株式会社サンテレビジョン 社会報道部 キャスター)
2月25日(火)	証券市場のしくみ	針生 正則 (株式会社大阪取引所 シニア・アドバイザー)
2月27日(木)	未来に伝えたい大阪の出版文化	松宮 宏 (小説家)

Enrich

学問を深める



受付開始
8月下旬

心理専門職のための体験から学ぶ心理療法

人文

難易度 ★★★ (専門職向け)

日時：10月11日(金)～12月6日(金) 19:00-20:45 各金曜日・全5回

定員：40名 受講料：10,000円 (全5回分)

Webページ公開・申込受付開始：8月下旬～

I-siteなんば

講義概要

本講座は昨年度に引き続き、公認心理師および臨床心理士の資格取得予定者・資格取得者を対象に、実際に箱庭や描画を行う体験学習に参加してもらいながら、臨床心理学の一つの柱である心理療法の理解を深めていきます。※講座の内容は、昨年度と一部重なります。

講義スケジュール



心理面接の基礎をロールプレイで学ぶ

第1回
10月11日(金)

前半では心理支援の総論として、伝統的な個別の心理療法(狭義の心理療法)と種々のフィールドでのアウトリーチの心理支援(広義の心理療法)を比較しつつ、その本質を概説します。後半は、心理支援の基礎としての心理面接を、グループに分けて受講生が実際にロールプレイを行う形で体験します。

講師：総田 純次 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

箱庭にふれる

第2回
10月25日(金)

箱庭療法は、砂の入った箱とさまざまなミニチュアを用いて行うイメージ表現方法の一つです。全員に箱庭制作を体験していただくことは難しいため、今回はグループでの箱庭体験に特化します。そして実際に心理臨床の場で箱庭がどのように活かされていくのかについて、講義を行います。

講師：片畑 真由美 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

社会的養護における心理支援を学ぶ

第3回
11月8日(金)

今の日本における社会的養護の子どもは約45,000人ほど存在すると言われてしています。そうした社会的要保護児童は被虐待や貧困社会からの孤立といった様々な背景を抱えており、適切な心理支援のあり方についてはまだまだ議論の余地があります。前半では愛着課題として知っておくべきポイントを整理・提示し、後半では模擬事例をもとに 検討を行います。

講師：樋口 亜瑞佐 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授)

心理療法と物語

第4回
11月22日(金)

心理療法では、漫画やアニメ、映画などの物語が話題になることが多くあります。この講義では、それらの物語に対する臨床心理学的観点について講義し、絵本や漫画、アニメ等を素材とし、物語についてグループ討議を行います。

講師：川部 哲也 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

MSSM法

第5回
12月6日(金)

MSSM法は、自発的な描画と物語が利用された優れた心理療法技法です。MSSMの実施やプロセスには、心理療法家としての根幹的な姿勢や態度が求められると講師は考えています。また、臨床場面での表現には心理療法の本質が表れる可能性もあります。本講義は、MSSM法を実際に体験していただくこと、体験を振り返り知を深めること、心理療法場面での実施について学ぶこと、で構成されます。

講師：高橋 幸治 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

各講座の詳細は「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」に掲載します。



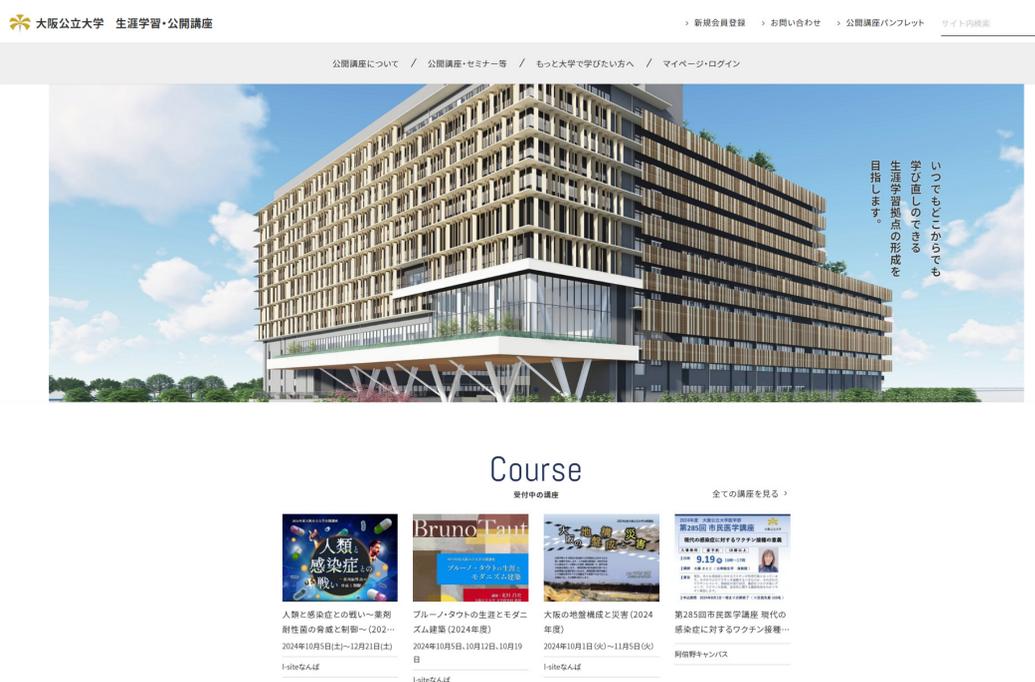
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

Webサイトにアクセス

上記URLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、ご希望の講座を検索してください。



大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト TOPページ画面



受付中の講座が画面に表示されます。

講座内容を確認

ご希望の講座をクリック（またはタップ）すると詳細ページへ進みます。講義概要、スケジュール、申込方法等をお確かめください。

※本冊子に掲載していない講座もあります。

※各講座の詳細および申込フォームは、順次Webサイトに公開されます。

開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております。



次頁に続く



お申し込み方法について

前頁からの続き



(ご注意ください) 講座によってお申し込み方法が異なります。
必ず講座ごとに内容をご確認ください。

お申し込み



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。

受講案内を受け取る



※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をする場合があります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備



対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。

(現金またはキャッシュレス決済)

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください(銀行振込またはオンライン決済)。また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

受講当日

* オンライン講座の受講方法はこちらをご覧ください ▶▶
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/application/>



大阪公立大学公開講座には、各種サービスをご利用いただける「会員制度」もございます。ぜひご登録ください。

会員制度について ▶



新規会員登録 ▶



* 会員登録は任意です。

* 登録にはメールアドレスが必要です。



受講にあたって

本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴(受講)いただけます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご確認ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先で必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はできません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「お知らせ-休講情報」または「緊急のお知らせ」(情報がある場合のみトップページに掲載)にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

資料を複写、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場での他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウィルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

大阪公立大学公開講座「受講にあたって」、よくある質問集「Q&A」はこちらに掲載しています。

受講にあたって ▶ <https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/howto/>



Q&A ▶ <https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/qa/>



生涯学習・公開講座Webサイトには、自由にご視聴いただける講義動画も掲載しています。



講義動画 ▼

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/movie/>



交通アクセス

公開講座の会場（本学施設）

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階

- 南海電鉄「なんば駅（中央出口）」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅（5号出口）」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- Osaka Metro御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」下車、西へ約450m、徒歩約7分

I-siteなんば アクセスマップ



中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1,000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- 南海本線「堺駅」から南海バス（北野田駅前行）で約24分
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車

中百舌鳥キャンパス アクセスマップ



杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本3-3-138



- JR阪和線「杉本町駅」下車、東口すぐ
- Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

杉本キャンパス アクセスマップ



文化交流センター (梅田サテライト)

大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階

- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約1分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- Osaka Metro谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「大阪梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「大阪梅田駅」下車、徒歩約15分

文化交流センター アクセスマップ





■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 社会連携課
(生涯学習センター)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階
大阪公立大学I-siteなんば

Tel 06-7656-5112

Fax 06-7656-5203

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

(祝日および休業日を除く)

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2024年8月発行